



## 深まる秋…勉強・スポーツ・芸術に、実りの秋！

今月5日に行われた創立120周年記念式典を始め、11日の第27回健康の森ウォーキング大会、そして各体育局の新人大会など、各種行事が催された充実の10月でした。それも束の間、いよいよ芸術の秋へ…文化部の祭典「高等学校芸術文化祭」のシーズンです。絵画や書道の展覧会、演劇や音楽の発表会を、時間を見つけて覗いてみませんか？同世代の高校生が創り上げた作品、演奏、演技に、きっと心が癒されると思います。

さて、約40日後に迫った修学旅行の準備も本格化してきました。クラス別コース、班別タクシー研修コース、部屋割りが決まりつつある状況です。クラスごと班分けして、沖縄の自然・くらし・産業・ことばと文化・歴史（太平洋戦争前と後）等について調べて発表を行うなど、より有意義な修学旅行になるよう事前学習にも力を入れてきました。高校3年間で最も思い出に残る行事の一つとなることでしょう。一人ひとりが旅行団の一員であることを自覚し、みんなで力を合わせて、楽しい旅をつくりあげましょう。

3年次履修科目を最終決定する時期となりました。登録の最終締め切りは11月6日(月)です。まだ迷い、不安を抱えている人もいることと思いますが、遠慮せず、先生方に相談してください。情報不足では正しい判断はできません。自分の将来に関わることでありますから、しっかり調べて、最終的な判断をしましょう。

さらに、11月は…

### ○最終下校時刻が18:30になります

11月から最終下校時刻が早くなり、部活動等による延長申請が認められた場合でも18:30完全下校となります。この時間には、学校の敷地外に出て、速やかに帰途につくことになっています。朝夕の寒さとともに、日が暮れる時間が早くなってきました。登下校時の安全については細心の注意を払ってください。

- ・夕暮れ時は自転車のライトを早めに点灯する。
- ・ヘルメットを着用し、交通ルール・マナーを守って通行する。

### ○「冬服期間」(11/1~4/30)になります

登下校の際は、上着(冬服)を必ず着用してください。また、女子生徒は、ネクタイまたはリボンを必ず着けてください。式典時等、ネクタイの着用を指定することがあります。

### ○「山梨県高等学校芸術文化祭」が開催されます

YCC 県民文化ホールや山梨県立美術館で、発表や作品を鑑賞できます。普段の学校生活ではなかなか接することのない、友人の別の一面や才能に触れることができると思います。ひととき、芸術の秋を感じてみませんか。

### ○15日(水)から第3回定期試験が始まります

9月下旬に行われた第2回定期試験の結果を受けて、各自反省点があるかと思います。次の定期試験こそ、その反省を活かして実力を伸ばしてみませんか。そのためには一日一日の積み重ねが大切です。これまでの取り組みを振り返り、計画的に、早めに準備して試験に臨んでください。

### 【11月行事予定】

A：A週 B：B週 行：学校行事 を表します

日	曜	A/B	予 定
1	水	B	
2	木	B	ベネッセ総合学力テスト(2年)
3	金		文化の日、第44回山梨県高等学校芸術文化祭囲碁将棋部門(鳳凰館)
4	土		ベネッセ総合学力テスト(1,2年)
5	日		
6	月	A	きすなの日、履修本登録提出締め切り日
7	火	A	
8	水	A	第3回定期試験時間割発表
9	木	A	県芸術文化祭パレード・グランドステージ
10	金	A	大掃除、校外清掃活動、ヒーター点検、冬季原付免許取得説明会
11	土		
12	日		
13	月	B	修学旅行事前学習「平和講話」
14	火	B	
15	水	行	第3回定期試験、第4回マナーアップ運動

日	曜	A/B	予 定
16	木	行	第3回定期試験
17	金	行	第3回定期試験
18	土		
19	日		
20	月		県民の日
21	火	行	第3回定期試験
22	水		定期試験成績処理日(生徒は家庭学習日)
23	木		勤労感謝の日
24	金	A	生徒協議会
25	土		
26	日		
27	月	B	きすなの日
28	火	B	総合的な探究の時間講演会(1,2年)
29	水	B	
30	木	B	

## 保護者のみなさまへ

心配された天候にも恵まれ、第27回健康の森ウォーキング大会を実施することができました。生徒達はいつもの教室を離れ、己の体力の限界にチャレンジするべく走る者や、友人達と語りいながら歩く者など思い思いに秋の1日を楽しんだようです。保護者の皆様には、当日の交通指導等で多大なるご支援をいただきましたこと、この場を借りて感謝申し上げます。

修学旅行に向けての準備が順調に進んでおります。今後の日程や連絡については、後日配布する「お知らせ その2」をご確認ください。また何かご不明の点や気になることがありましたら、遠慮なく学校までお問い合わせください。

◎2年次職員からの寄稿を紹介します。1組担任 小林 康仁 先生からです。

「The Blind Side」という映画をご存じでしょうか。邦題というのは、日本人にとって分かりやすくするために（もしくはその時のトレンドに合わせて？）、原題より200%ダサいものが付くことがままあるのですが、これも例によって「幸せの隠れ場所」というおダサな（関係者の皆様へ陳謝しつつ）邦題がついています。NFL（National Football League）のスター選手の実話が元になった話で、blind sideとはアメリカンフットボールの用語で、簡単に言うとボールに対しての反対側を指します。みんなが注目する輝かしい部分の反対側、功績は決して順風満帆ではなかった、という解釈でしょうか。黒人としてスラムに生まれ、17歳にしてホームレス同然に生活する主人公が、その環境においてそのまま過ごせばギャングになるか、貧しく生きるか…。自分ではそこから抜け出すことすら考えない、という姿から始まります。彼の状況に気づいた大人や施設が助けようとするも、最初はMay I leave now?と聞き入れなかった主人公が、好きな運動をすること、少しずつ勉強すること、誰かと話をするなどで、少しずつ笑顔を見せるようになります。その中で、①自分で解決できないこともあると知り、助けを受け入れること ②自分に合う方法を見つけて向上すること ③難しい状況も、納得した上で、自身で決断すること を学び、心が解かれ、潜在された力を発揮していきます。この後の物語がとても爽快なのですが…そこはぜひご自身の目で。（参考：indeed.com）

さて、みなさんも同じ17歳、大きな決断もこの先待っています。ぜひ①～③を、自分のことに置き換えてみてください。勉強でも部活でも、何でもいいです。希望の進路に進みたい、実力を発揮したい、将来は自身の道を進みたいという人は、日々の中に取り入れて、成功を掴み取ってほしいと思います。小林もそうありたいと思っています。

最後に、我々の人生は一度きりですが、映画は「だれかの人生も生きることができる」ものです。小林にとっては、母 玲子にもらった言葉ですが、みなさんにおすそ分けします。時には息を抜いて、人生の「大切なことが隠れている側」を、覗いてみてはいかがでしょうか。

◎続いて1組副担任 渡辺 和弘 先生からです。

1組副担任の渡辺です。年次だよりという機会をいただいたので、皆さんに身につけてほしい力について書きます。

- ①論理的な思考力を育ててほしいです。筋が通った考え方は合理的ですから間違いになりにくく、自分も周りも納得できます。論理は判断の根拠となり、検証→教訓→レベルアップにつながります。論理的に思考することは物事の関係性を理解することでもあり、未来の想像・予測が可能になり、リスク回避→備え→チャンスをもものにできます。
- ②正確な日本語運用能力を身につけましょう。世の事象や感情を言語化できれば、理解・アウトプット・修正・上書きが可能です。そうすれば世界をより広く深く理解でき、自分が持っていないものも吸収し、適切に対処できます。因果・他者の行動原理・自分の感情・内面を説明できれば、不安・悩みの解決とともに他者とも適切に対応できるでしょう。
- ③抽象化できる力も必要です。目に見えない事象を扱うためには抽象的に考えなければなりません。分野が異なるものの共通点を導いたり、物事の本質をとらえたり、時間軸・空間軸をとって考える力になります。

これら3つの力を身につけた上で戦略的に考えていきましょう。目標を設定し、現状を把握し、目標達成が可能な方法とプランを描き、日々の計画やTODOにブレイクダウンし、実現する。そうすれば、社会に出ても自分のキャリアパスを描いたり、スキルアップを目指したり、生活のすべてで応用できます。

